

4-3

日本語能力向上の継続的支援が重要

日本語を使いこなすことは、外国人にとって難しいことです。高い日本語能力を持っている人でも、細かいニュアンスを読み取ることや、尊敬語、謙譲語、丁寧語を使い分けることは大変です。とりわけ、日本人特有の空気を読むことは、外国人が苦手とすることです。また、日本語能力が不足するために、周囲とコミュニケーションが上手くとれずに、能力を発揮できない、疎外感を感じて組織に上手く溶け込めないなどの問題を抱え、結果的にモチベーションの低下やストレスの原因となります。

日本語能力が十分でない高度外国人材や日本語能力の向上を希望する高度外国人材に対して、日本語学校などを利用して日本語の研修を継続的に行うことが必要です。また、工作中、仕事終了後にも高度外国人材とコミュニケーションをとる機会を作っていくことが、日本語能力の向上とお互いの理解を深めるよいチャンスとなります。

<<日本企業で働く高度外国人材の声>>

日本語の難しさ

- ★上司からは日本人と同じレベルの日本語で指示されるので、仕事の内容が分からない 때가時々ある。複雑な話になると理解するのが難しい。(キャリア採用、インド)
- ★日本語については、聞く、話す、読む、書く、のうち、書くことが一番難しい。時間がかかってしまうので、外国人だからと考慮してもらえると嬉しい。(国内新卒採用、タイ)

<<高度外国人材を雇用する日本企業の取り組み事例>>

- ★社内の日本語研究会が終った後は、外国人材と一緒に食事に行ったりして、よいコミュニケーションの機会を作っている。コミュニケーションをとるうちに外国人材のことが分かってくる。(中堅メーカー)
- ★社内の日本人が交代で日本語の講師を勤めて、1時間程度の日本語を学習する時間をとっているが、外国人材とのコミュニケーションの活性化、日本人の意識の改善にもつながっている。その際、業界や当該企業特有の用語、ビジネス習慣、日本の習慣を題材にすることで、理解も深まり、日本語能力の向上、日本人の異文化理解の向上にもつながっている。(中堅メーカー)